

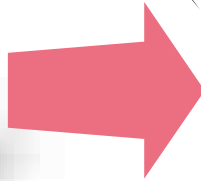


ジオセツは

ガ
チ
ツ
ク



やわらか
地盤を



とさせます



品 種 ^(※1)	特 長	荷 姿 ^(※1)	
		パ ラ	フレコン ^(※2)
汎用 (特殊土用) ジオセツ200	一般的な軟弱土の浅層改良や深層改良、建設発生土の改良など、幅広い土質や用途に適した六価クロム溶出量低減型の汎用固化材です。	○	○
高有機質土用 ジオセツ220 シリーズ	有機物含有量や含水比の高い土質、火山灰質粘性土や底質などのように固化しにくい土質に適した六価クロム溶出量低減型の高有機質土用固化材です。	○	○
テフロン [®] 処理防塵型 ジオセツ260 シリーズ	テフロン [®] 処理加工により、粉体施工時の発塵を抑制して、周辺環境を保全し、作業環境を著しく改善する六価クロム溶出量低減型のテフロン [®] 処理防塵固化材です。	×	○
セメント 石灰複合系 ジオセツ275	高含水比の建設発生土や、ロームの改良に適します。セメント系固化材と生石灰の長所を併せ持った六価クロム溶出量低減型のセメント石灰複合系固化材です。	×	○

ご使用の際は事前の試験により、改良土からの六価クロム溶出量が土壤環境基準を満足することをご確認ください。
品種の選択等、ご不明の点は最寄の支店にお問い合わせ願います。

※1 品種、荷姿によっては、地域により提供できない場合がございますので、事前にご確認願います。

※2 フレコン:フレキシブルコンテナ(1t)

■ 荷 姿



バラ(ローリー車)



フレコン(1t)

汎用固化材(特殊土用)

ジオセット200

ジオセット200は、軟弱地盤の浅層・深層改良から、汚泥・底質の固化処理などの幅広い用途に適用できる六価クロム溶出量低減型の汎用固化材です。

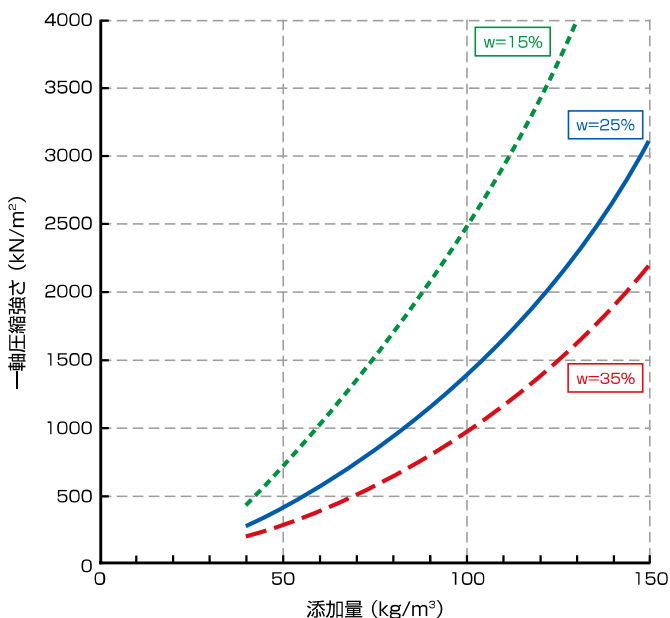
多様な土質に対して添加量を適切に設定することにより所要の一軸圧縮強さやCBR値を得られます。

【特殊土とは…】

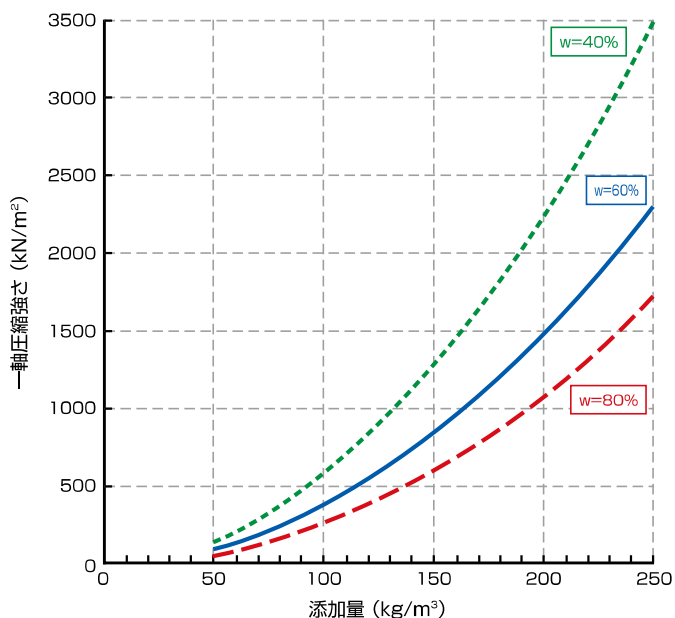
天然資源を原料として製造されるセメントやセメント系固化材には、自然界に広く存在する天然鉱物の重金属(クロム等)が、極微量ながら含まれております。その為、セメントやセメント系固化材を用いた改良土からは、土質配合条件によっては六価クロム溶出量が土壤環境基準(0.05mg/ℓ)を超える濃度で溶出することが、まれにあります。こうした、改良土からの溶出量が土壤環境基準を超えてしまうような土を総称して特殊土と呼びます。

ジオセット200を用いた室内強度発現目安 [材齢7日] [粉体添加]

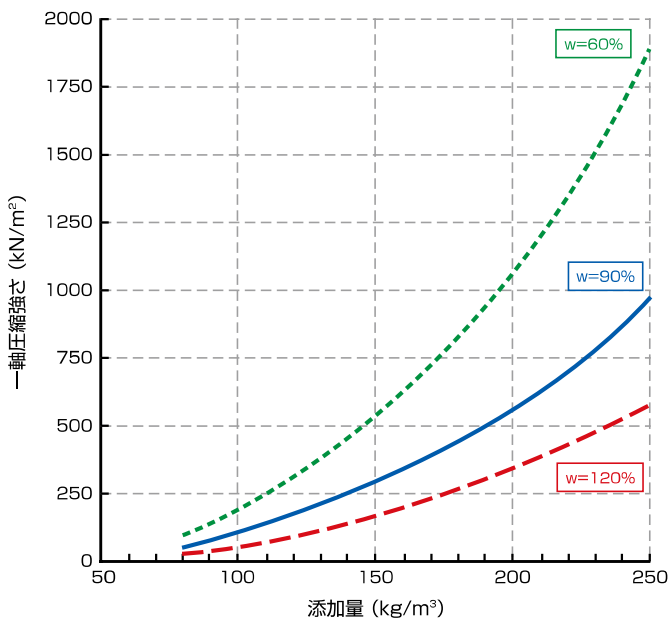
■一軸圧縮強さ [砂質土]



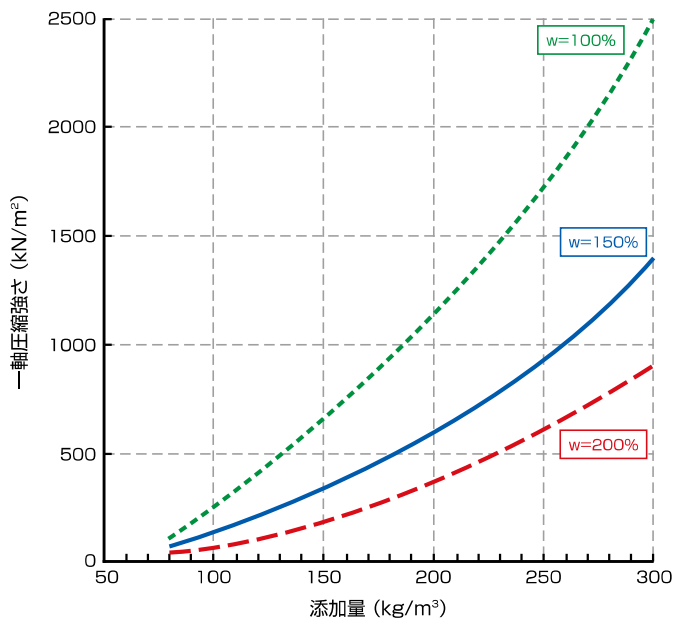
■一軸圧縮強さ [粘性土]



■一軸圧縮強さ [火山灰質粘性土]

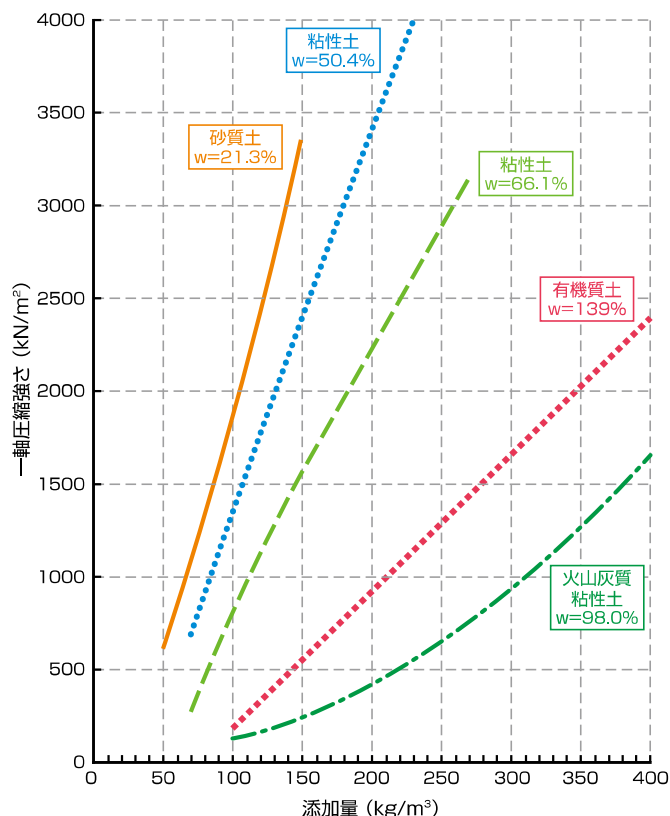


■一軸圧縮強さ [有機質土]

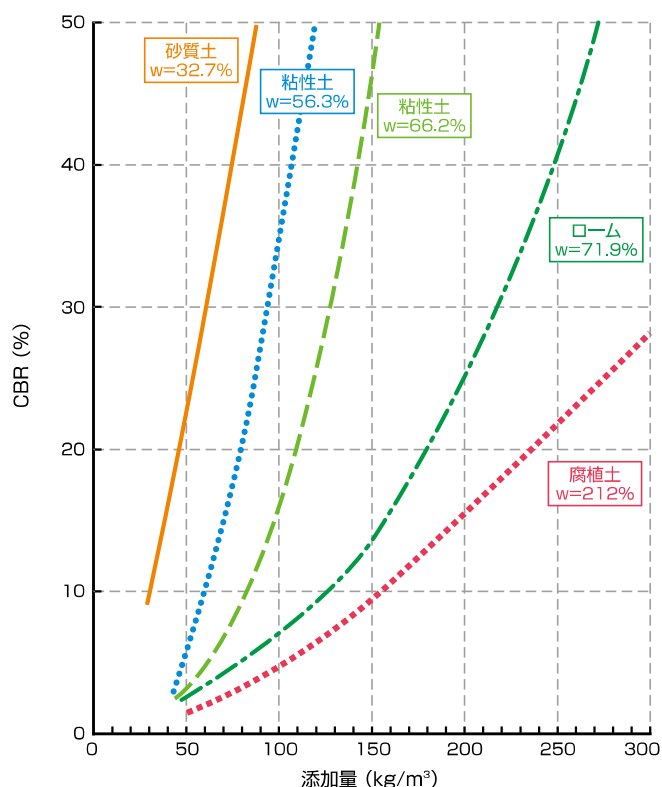


室内強度発現例

■一軸圧縮強さ [材齢28日] [スラリー添加(W/C=100%)]



■CBR [材齢7日] [粉体添加]



※ w : 対象土の含水比 W/C : スラリーの水セメント比
 ※ 注 : ジオセットは、事前に試験を行っていただき適正な添加量で使用してください。

ジオセット200を用いた改良体の溶出試験結果例

■材齢7日の供試体を用いた事前実験

土質名	含水比 (%)	湿潤密度 (g/cm³)	添加形態	添加量 (kg/m³)	改良土からの六価クロム溶出量 (mg/ℓ)	
砂質土	A	25	1.954	粉体	60	<0.02
	B	33	1.874	粉体	100	<0.02
	C	36	1.791	粉体	100	<0.02
	D	25	1.952	スラリー(W/C=80%)	70	<0.02
	E	37	1.787	スラリー(W/C=80%)	100	<0.02
	F	39	1.778	スラリー(W/C=80%)	100	<0.02
	G	33	1.870	スラリー(W/C=100%)	50 150	0.02 0.03
粘性土	A	42	1.783	粉体	150	<0.02
	B	57	1.663	粉体	100	<0.02
	C	60	1.638	粉体	100	<0.02
	D	69	1.560	粉体	70	<0.02
	E	70	1.583	粉体	200	<0.02
	F	73	1.533	粉体	150	0.02
	G	98	1.460	粉体	150	<0.02
	H	42	1.766	スラリー(W/C=100%)	180	<0.02
	I	48	1.721	スラリー(W/C=100%)	100 150 200	0.02 0.02 0.02
	J	85	1.511	スラリー(W/C=100%)	200 300	0.03 0.03
火山灰質粘性土 (ローム)	A	56	1.687	粉体	200	<0.02
	B	98	1.434	粉体	200	<0.02
	C	118	1.337	粉体	160	<0.02
	D	121	1.331	粉体	250	<0.02
	E	123	1.299	スラリー(W/C=60%)	300	0.02
	F	64	1.612	スラリー(W/C=100%)	200 300	<0.02 <0.02
	G	75	1.532	スラリー(W/C=100%)	220 320	0.04 0.03
	H	76	1.532	スラリー(W/C=100%)	200 250 300	0.05 0.04 0.03
	I	106	1.408	スラリー(W/C=100%)	200 300	<0.02 <0.02
	J	113	1.395	スラリー(W/C=100%)	200	<0.02
有機質土	A	64	1.572	粉体	250	<0.02
	B	103	1.424	粉体	200	<0.02
	C	121	1.320	粉体	160	<0.02
	D	162	1.259	粉体	100	<0.02
	E	218	1.173	粉体	300	0.02
	F	150	1.268	スラリー(W/C=80%)	150	0.02
	G	190	1.209	スラリー(W/C=90%)	160	0.02
	H	100	1.491	スラリー(W/C=100%)	150	<0.02

●環境庁告示第46号法に準拠し作成した検液をジフェニルカルバジド法にて測定
 ●定量下限値は0.02mg/ℓ